

213 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 00:43:41.71 ID:RzXOMN380  
このスレは 書いていくのが 難しい 幼稚な俺は 何もできない

214 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 00:55:42.34 ID:LHV6m/Of0  
~女宅~

女「必死だが？ これ以上は 無意味かと」

男「い、いいや！ まだ挽回の手がきつと、恐らく、多分.....あるかなあ？」

女「負けが嫌、それは分かるが もう無理だ.....」

王将と 歩兵が数枚 打つ手なし

217 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 01:10:48.01 ID:RzXOMN380  
男「驚いた女が追試以外だな」  
女「私はな かならず英語で 落ちるんだ」  
男「何でまた英語だけができんのだ？」  
女「それはだな 五七五で できないからだ」  
男「そこまではこだわらなくても良いのでは？」

218 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 01:26:24.21 ID:Q68gUMmz0  
男「もう眠い、早く寝ないと明日つらい」  
女「それがいい おやすみなさい 好きな人」  
男「なんでかな いつのまにオレ 5・7・5」  
女「偶然ね >>217さんも 一緒です」

219 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 01:33:07.36 ID:LHV6m/Of0  
男「五七五.....あ、あれ？ 何かなってないぞ？」  
女「構わない、君がいるなら それだけで」  
男「.....言ってるで恥ずかしくないか？」  
女「言わせるか、そういう言葉、言わせるか！？」  
男「耳元で叫ぶなっ！」  
唯一の 五・七・五には ならぬ奴。

220 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 01:50:19.39 ID:nrn9vhiz0  
>>130  
続き書こうと  
したけれど  
脳内設定 男が事故るw

222 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 02:27:15.46 ID:JMTKulgf0  
今北と 言っっては見るが 誰も居ず 明日は会えると 信じて保守

223 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 02:36:18.75 ID:LHV6m/Of0

>>222

実はいる 別事やって ROMだがな

~公園~

女「(ベンチに座って、もぐもぐとタイヤキ頬張ってる)」

男「女、あんまり、がつついて食べるもんじゃないと思うぞ？」

女「.....不意打ちで 食事の邪魔も いただけぬ」

男「ま、文句は言うな、で、俺の分は？」

女「そこの角 タイヤキ屋台 餡は粒、ちなみに私 カスタードでね」

男「.....ちゃっかり、カスタードのを買って来い、と言ってるな？」

機会あり ならば頼むは お約束

224 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 02:50:57.42 ID:LAABi8hs0

(テスト期間)

女「寒き夜に 解けぬ問題 肝ひやし・・・」

男「共に行かぬか 職員室へ？」

女「そこぞおる 先生のもとへ いざゆかん」

男「われらの悩みを 氷解せんと」

先生「国語の先生よんできてえええっえええ！！」

229 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 03:47:43.32 ID:xw/z/ELWO

女「好きだよと 話しかければ 好きだよと こたえる人の いるあたたかさ」

男「なんだって？ 聞き取れなかった もう一度」

女「...わざとだろ 二度とは言わぬ キミに対して」

男「ふくれる君が いとおしくある」

女「...！」

御察しの通り、最初は俵万智の句をいじったものです  
盗作スマソ

230 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 03:59:11.78 ID:xw/z/ELWO

蒼い空 雲のすき間を のぞみみて 懸命に上を のぞく向日葵

A V女優「蒼井そら」の隠部をみようとする男であった...

231 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 04:34:52.37 ID:w2iLDf5m0  
このスレを落とすわけにはいかないと保守するわけじゃないんだからねっ!!

232 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 05:00:24.21 ID:44kv4V7B0  
保守をする こんな自分は 今日テスト  
・°・(P`q。)・°・

233 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 06:31:55.22 ID:SGYpgfjM0  
保守するぜ保守するったら保守するぜ

234 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 06:36:51.69 ID:6cbq5gt/0  
>>233  
ポケモンの あれににている 5・7・5

235 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 07:16:25.46 ID:ZtCF8lQGO  
今沖田 今日も早よから五七五

237 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 07:28:56.65 ID:5/koyxrb0  
受験生 皆頑張れ ファイトオー。  
私も学校 行く用意する。

238 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 07:40:57.46 ID:ZtCF8lQGO  
朝ご飯 かき込む今朝も納豆を  
口臭を気にして学校行きづらい

239 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 07:48:15.95 ID:ZtCF8lQGO  
何故だろう日常会話が 五七五  
これは完璧 おかされてきたwwwwwwww

240 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 08:38:46.07 ID:44kv4V7B0  
勉強0 覚悟を決めた この期末  
おまえらしっかり 保守頼んだぞ

241 : **1** : 2007/01/26(金) 08:46:08.77 ID:IBZx5X750  
今きたら まとめができてて 驚いた

まとめ作った方、良SS書いた方、感謝します

- 243 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 08:51:58.47 ID:xVFYEWzYO  
やばいって  
リアル会話も  
五・七・五  
まわりの奴ら  
みんなひいてる
- 244 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 08:53:53.58 ID:ZtCF8lQGO  
>>243  
仕方ない  
ここの魔力は  
超異常
- 245 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 09:01:34.46 ID:CDWEfsw00  
>>243  
ホントかよw  
俺もできたら  
やってみよ
- 246 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 09:10:37.13 ID:ZtCF8lQGO  
難しい  
急には無理な  
五七五
- 248 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 09:27:48.62 ID:ZtCF8lQGO  
保守をする  
携帯厨が  
消しさるは  
携帯電池か  
溶けゆく雪か
- 保守
- 249 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 09:59:13.44 ID:ZtCF8lQGO  
結局は  
俺がけしさる  
ものはみな  
住人達と  
信頼のみか
- 250 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 10:14:16.57 ID:SGYpgfjM0  
いと哀し 後輩スレが 落ちている

見逃した \ (^o^ ) /

251 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 10:19:15.14 ID:xVFYEWzYO  
- 日曜日 -

最近女の様子がおかしいので気分転換に遊園地に誘ってみる。

男「女、ジェットコースター乗ろうぜ。」

女「...遠慮する 絶叫系は 苦手だな」

男「そうか...。じゃあコーヒーカップは？」

女「いいだろう それなら私も 乗れそうだ」

コーヒーカップからおりるとすぐに女は座り込んだ

男「だ、大丈夫か？」

女「まわしすぎ 気分が悪い 目がまわる」

男「ごめんな、とりあえずベンチのあるところに行こう。」

帰り道

男「今日は悪かったな、いろいろ引っ張りまわしちまって。」

女「別にいい ちょうど私も 暇だった」

男「じゃあ明日学校でな。」

遠ざかる 君の背中を 少し見て 家路に足を 向け歩く

女「君の顔 見ると素直に なれなくて 言いたいことは 他にあるのに」

男「...俺に言いたいことって何だ？」

女「...！」

男「いや、一人だと危ないかなって思って。」

女「...気付いたら 思うはいつも 君のこと 好きになったと 最近気付く」

男「...！」

女「嫌だろう こんな口調の 私なんかと」

男「...嫌じゃない ずっと前から 好きだった」

女「...！なぜだろう とても心が あったかい 君の言葉が 心を包む」

保守がてら はずみで書いた 駄文です 反省してる 後悔してない

252 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 10:23:25.78 ID:ZtCF8lQGO  
>>251

いやナイス

久々投下が

暖かい

253 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 10:44:21.32 ID:ZtCF8lQGO  
ちょっと待て

そこの少年

やらないか

保守

254 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 10:50:20.65 ID:B0SfPpsh0  
君のこと  
見ている俺の  
休み時間(字余り)

256 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 11:36:35.74 ID:aqI03XZk0  
良スレを  
見つけて  
浮かれる携帯房

257 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 11:36:44.16 ID:ZtCF8lQGO  
人いない  
そんな昼でも  
保守をする

258 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 11:42:29.98 ID:6sgpAPUD0  
今北産業

>>21に某カフェオレCMに似た言葉があるが  
著作権上の問題はないか？ww

260 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 11:46:04.41 ID:t34m6ffx0  
>>258  
「カフェオレは 得意なんです ブレ ディ」のことかー！

259 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 11:43:07.12 ID:ZtCF8lQGO  
>>256  
すいません  
出来心です  
許してと

いいはしますが  
実は面倒

261 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 11:55:50.98 ID:0/P0sH2/0  
保守保守ほ  
保守保守保守ほ  
保守保守ほ

262 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 12:15:24.24 ID:MJiz+IiRO  
夕焼けに  
お花が散って  
きれいだなあ  
男君にも  
見せてあげたい

。。。懐かしい

263 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 12:21:05.61 ID:xVFYEWzY0  
この想い  
届けと願う  
星空に  
一筋見えた  
その流れ星

264 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 12:22:46.17 ID:MJiz+liRO  
>>263  
ハルヒOP思い浮かべた件

265 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 12:28:30.16 ID:MJiz+liRO  
歌を詠む  
気持ちになれぬ  
曇り空  
我の心に  
雨が降るなり

これでなんのネタかわかると思う。

266 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 12:29:47.19 ID:xVFYEWzY0  
>264  
実は俺  
ハルヒのアニメ  
見たことない(字余り)

267 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 12:32:15.59 ID:iXK+aHss0  
実は俺  
彼女できたぜ  
つい最近  
でも恥ずかしがって  
画面から  
出てこない

268 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 12:54:40.77 ID:LHV6m/Of0  
今沖田 さてまた投下 開始かな

~水族館~

女「水の道 魚は我を身 何思う……」

男「こういうとこまで来て、一句詠んでるんじゃないっての」

女「感謝した そのお礼にと 思ったが.....」

男「気にするもんじゃないだろ。うん。俺が単純に女と来たかったわけだし？」

女「(フッ、と笑う)君の言う その優しさが 嬉しいね」

男「あんがとさん」

笑いあう この一時が 嬉しくて。

萌える文？ 残念俺は 和む文。  
萌える文とか 書いてみたいねorz

270 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 13:19:14.95 ID:ZtCF8lQGO  
うごうけん  
下から詠んだら  
んけうごう

271 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 13:19:29.00 ID:LHV6m/Of0  
~教室~

女「男君。この弁当を プレゼント(弁当箱差し出しつつ)」

男「.....また嫌いな物があるのか？」

女「そうじゃなく、食べて欲しいの 他意はない」

男「別に取り繕わないでいいって.....。ったく、今日は昼飯買ってあるし、嫌いな物だけ  
食ってやるから、後はお前が食べよ？」

女「違うから.....。嫌い云々 勘違い」

男「はいはい、わかったわかった」

過去が今 手作りの意味 消し去った。

272 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 13:43:05.17 ID:ZtCF8lQGO  
保守をする  
こんなところで  
終われない

273 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 13:55:09.18 ID:xVFYEWzYO  
馬鹿だから  
すぐには話  
作れない  
ここはひとまず  
保守しとこう

274 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 14:11:35.71 ID:LHV6m/Of0

~教室~

女「.....ここがこう、こうなっていて、これがここ（ブツブツ.....）」

男「五・七・五でブツブツ呟くな、気色悪い！ ったく、一体、何やってるんだ？」

女「.....何てこと。脳年齢が 5 1.....（真剣に凹んでる）」

男「そういうのを信用するか、お前は.....？」

本当に 脳年齢を 計れるの？

276 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 14:24:14.76 ID:IBZx5X750  
人が増え 再び活気が このスレに

277 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 14:25:34.09 ID:ZtCF8lQGO  
>>276  
ならいいが  
職人達は  
来るだろか

278 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 14:39:21.38 ID:LHV6m/Of0  
~女宅・庭~

女「落ち葉焚き 火に包まれる 作物よ。その身焼かれて 何を思うか？」

男「.....たかが焼き芋焼いてるだけに、そこまで深刻そうな一句を詠むか、お前は」

女「何事も、気分が大事。そうじゃない？」

男「いや、別に焼き芋焼くのに、そんな深刻そうな気分はいらんのだが」

女「.....感性が、君とは少々 合わないか」

男「焼き芋焼くのにいちいち深刻になる感性、ってどんなだよ!？」

パチパチと 爆ぜる火の音 立つ煙

281 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 14:50:12.04 ID:MJiz+liR0  
おじゃるの歌詠み合戦ににたなんていうだろう・・・  
あれを感じてるのは俺だけじゃない

283 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 15:05:25.25 ID:Xyb7m8UV0  
我がマラの  
イカの香りに  
誘われて  
欲棒擦る  
昼下がりがかな

284 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 15:24:59.28 ID:t34m6ffx0

危険です

女「爆竹を 集めて楽し テロリズム」  
男「犯罪はやめような」  
女「闇鍋を 集めて楽し 誕生日」  
男「頼むから変なもの入れるなよ」  
女「なぜかしら こんなに胸が 苦しいの」  
男「39 も熱あるのに無理するなよ」  
女「もう終わり 風邪こじらせて 心筋炎」  
男「だから病院行けよ！！」

見せたくない

女「これはない いくらなんでも ひどすぎる」  
男「ああっ！それは俺の歴代黒歴史集！！」  
女「女でも 腹筋割れる 予感する」  
男「やめれー！！」

285 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 15:36:35.51 ID:IBZx5X750  
『昼休み』

男「おっ 今日のA弁当はエビフライか」  
女「エビフライ あぁエビフライ エビフライ」  
男「・・・歌が安っぽくなってるぞ そんなに欲しいのか」  
女「仕方ない 好物なのだ エビフライ」  
男「だからと言って俺の貴重なオカズをだな・・・」  
女「くれぬなら 君にくらわす エビ固め」  
男「(力づくかよ)」

男「仕方ない、今回だけだぞ ほら」  
女「ありがとう さすが男だ 大好きだ」  
男「・・・・・・(ゲンキな奴)」

女「硬くとも それを食すが またをかし(バリバリ)」  
男「(しっぽまで食うほど好きなのか・・・)」

286 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 15:40:00.03 ID:ojZg9x0i0  
女「男さん 少し時間 良いですか？」  
男「いいよ。」  
女「この文と 乙女の気持ち 届くかな」

手紙を渡して走り去る女

女-この気持ち 言えるほどの すきはなく 夢の中で 思いを伝える-

男-夢の中 いつもあなたを 思いつつ 我慢ならずに 夢精してたよ-

287 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 15:46:29.30 ID:t34m6ffx0  
遺伝子組み換え

女「配列を いじり回して 楽しいな」  
男「変な生物作り出すんじゃないぞ」

女「大丈夫 元はあなたの DNA」  
男「勝手に使うな！」

越えられない壁

男「ああ嫁よ どうかこっちに 来ておくれ」  
男「娘らよ みんな愛しい 私の子」  
男「パソコンが 壊れて終わる その命」  
女「越えられぬ 次元の壁が 横たわる」

ある冬の日

女「金が尽き 油も尽きた この部屋で 歌詠みながら 眠りにつこう」  
男「おーい、生きてるかー？」  
女「見上げると そこにはなぜか 君の顔 私の危機を 察して来たか」  
男「あちゃー、水も電気も止められたのかよ。とりあえず俺の部屋行こう」  
女「ありがたや ああありがたや ありがたや」

294 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 16:46:12.12 ID:5/koyxrb0  
才能が 無くてもかなり 書いたけど。  
モチベ上がり 更に駄文で。orz

私には 保守しか能が ないのかな？orz

295 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 16:56:11.26 ID:1BZx5X750  
『帰り道』

女「……………」  
男「どうした？(さっきからずっと何か考えてるな)」  
女「……………！！」  
男「なんだ？」  
女「男君 社会の窓が 全開よ」  
男「おわっ！ 何でもっと早く言わないんだよ！」  
女「うまいこと 歌にするのが 遅れたの こんな状況 初めてだから」  
男「なんでもいいから早く言えて… いつから開きっぱだったんだ……」  
女「いつかしら 確か午前 a  
男「やめろ！ やっぱ言わんでいい！」

296 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 17:00:15.46 ID:t34m6ffx0  
独裁者

女「戦争も ボタン一つで 解決よ」  
男「核兵器は使わないでくれ」  
女「気に入らぬ この一言で さようなら」  
男「怖すぎるだろ」  
女「そう言えば なぜ私だけ 太り出す？ 周りの人は 痩せていくのに」  
男「お前が民から搾取してるからだよ」

砂浜にて

男「つかまえてみろー」  
女「つかまえた もう放さない 君のこと」

#### 治療

男「あ、宿題忘れた」  
女「居残りが 確定してる 馬鹿一人」

男「あ、弁当忘れた」  
女「残念ね 私の分は もうないの」

男「あれ？俺の名前何だっけ？」  
女「聞かせたい 馬鹿は死んでも 治らない」

297 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 17:14:07.20 ID:ZtCF8lQGO

>>294

おかしいな  
未だ駄文が  
見つからぬ

299 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 17:21:12.11 ID:5/koyxrb0

>>297

まだ途中 見せるためには 時間いる。

298 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 17:17:49.95 ID:t34m6ffx0

罪

女「賽銭を くすねてみれば 米ばかり」  
男「米を賽銭箱に入れる人がいるからな」  
女「CDを 他人の鞆に 放り込み 一人ゆうゆう 私は帰る」  
男「迷惑な話だな」  
女「転落死 本当は押した 人がいる」  
男「.....お前じゃないよな？」  
女「あの事件 真相はもう 闇の中」  
男「迷宮入りか.....」

#### ポケット

女「ポケットを 叩けば増える ビスケット」  
男「夢のある話だな」  
女「ポケットに チューインガムと 夢を入れ」  
男「古い歌だな ずいぶん」  
女「ポケットの 向こうはなぜか 4次元だ」  
男「そろそろ打ち切られるのかあれ？」  
女「ポケットに 大事な子供 カンガルー」  
男「カンガルーの子供って本当に小さいよね」

301 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/26(金) 17:39:26.21 ID:t34m6ffx0

犠牲

女「毒見役 弁当食べて 即死した」

男「いったい何作った」  
女「善人は 神に愛され 早く逝く」  
男「美少女美少年もな」  
女「黒魔術 今度は誰を 呪うため」  
男「対象が俺でないことを祈る」

#### 無意味

女「身につけた 資格がどれも 役立たず」  
男「活かそうとしなきゃ駄目だろ」  
女「大卒で ニートになった 脛齧り」  
男「それでも親にとっては子供なのか……」  
女「納豆で 食うその飯を まず減らせ」  
男「好きなだけ食って痩せたらそりゃ病気だよ」

#### 事故

女「雨の中 濡れながらなお 人を待つ」  
男「ごめん、遅れた」  
女「携帯は 電池が切れて 役立たず できれば訳を 話してほしい」  
男「これ見りゃわかってくれると思うんだけど、バスが事故りやがってさ」  
女「血に濡れた 白い上着と 君の腕」  
男「ああ、言っとくけど俺のじゃない。一つ前の人が酷いケガしてさ、救助手伝ったんだ。こんな格好でごめんな」  
女「わかったわ 今日素直に 戻りましょ デートできるわ あなたの家で」

302 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 18:01:16.33 ID:t34m6ffx0  
願い

女「夢に見た 君と夫婦に なったこと」  
男「どんなだった？」  
女「ボロ屋敷 子供が9人 大家族 貧乏だけど それもまたよし」  
男「頑張りすぎだろw 他には何かないか？」  
女「周囲とは 隔絶された 片田舎」  
男「それなら何とかなるかも」  
女「この夢が 本当になれば いいのにな」

#### 本音

女「本当は 疲れてきたの 五七五」  
女「本当は 普通に彼と 喋りたい」  
女「叶わない 魔の数字から 逃げること 存在意義を なくしてしまう」  
女「……」

#### パソコン

女「マニュアルも ヘルプもあてに ならなくて できれば君に 教えてほしい」  
男「あー、それはな、このボタンをクリックして」  
女「なるほどな よくわかったよ ありがとう」

女「レポートが 2時間かけた レポートが……！」  
男「あわてるな……よいしょっと (Undo)」

女「感謝する 単位はこれで 安泰だ！」  
男「まああれだ、こまめにセーブしておけよ」

303 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 18:08:42.69 ID:I1D7k7Ma0  
とりあえず。  
本日ここまで  
転載済み。  
今からSS  
整理してくる。

どうやって整理しよう。。orz

304 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 18:14:00.19 ID:ZtCF8lQGO  
SSを  
書くの好きだが  
携帯厨  
さらに駄文で  
頭も悪い

職人様wtkk

305 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 18:34:38.01 ID:7CAaNajj0  
登校中

男「それでさ～…」  
女「本当に あなたの話は 面白い」  
男「マジで？サンキュ！優しいのな」  
女「男君 見上げてごらん あの空を」  
女、空を見上げる  
横断歩道でトラックが迫る  
男「ちょ、女！危ない！」  
ドン！男、轢かれる  
女「…… …… ……！」

病院、霊安室にて  
女「見てごらん きれいな顔で 死んでるよ」  
女「溢れ出す 伝えれなかった この想い 頬の涙は そのかわりかな」

空気も読まずに携帯から投下。既出ならスマン。反省はとてもしている。  
ら抜き言葉？ゆ、ゆとりじゃないんだからね！

306 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 18:42:44.73 ID:EB+IvcXH0

幸せな 日々の名残は 君の声 二度と会えない 愛しい人へ

307 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:00:42.43 ID:YTG4jaD/0  
このルを 見てると心 洗われん

この「れん」は 否定じゃなくて 肯定ね

今日テスト 数学Ⅳ入 終わったな

309 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:09:51.70 ID:t34m6ffx0  
精神論

女「躓くも また歩き出す 一步前」  
男「根性だな」  
女「悩むより まずやってみる 何事も」  
男「“案ずるより ” っつてやつか」  
女「叩き込め 頭ではなく 体へと」  
男「実際は運動を司る小脳の働きらしいけどね」

手料理

女「おいしいよ 君は料理が 上手だな」  
男「たまには料理してみたら？楽しいよ」  
女「毒物を 作り続けて」  
男「言わなくていいよ、年がバレる」  
女「材料を 殺し続けて」  
男「早く食べないと冷めるってば」

不安

男「Zzz」  
女「眠る君 無邪気な寝顔 宝物」  
女「いつかくる 別れの時を 思いつつ 幸せな今 かみしめている」  
女「二人でも 乗り越えられぬ こともある」  
女「この時に 縋りつくこと なきように 祈る私の 思いよ届け」

310 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:19:26.74 ID:ZtCF8lQGO  
熱血に  
ひらめき必中  
幸運も  
ついでに努力と  
援護もつけて

スパロボ

311 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:21:55.00 ID:Lm2P/AJc0  
これはキタ久方振りの 良スレだ 前に見たのは 記憶の彼方

312 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:23:58.22 ID:IBZx5X750  
今は保守 それしかできない 俺だから

313 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:25:06.90 ID:ZtCF8lQGO  
そういえば  
>>296の  
独裁者  
まさかと思うが

あのスレの人?

314 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:30:09.39 ID:t34m6ffx0

>>313

あのスレを 見ていたことは あるけれど 残念ながら 書いてはいない

315 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 19:54:28.10 ID:/x0CaEAV0

日本語は 自由度高すぎテヲヲ

317 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 20:25:53.50 ID:ZtCF8lQGO

保守をする  
右手に携帯  
左に箸を

318 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 20:27:31.20 ID:LHV6m/Of0

~教室~

女「もう、だめよ……。私はここで 絶えるのね……」

男「まだだ、まだ終わりじゃない！ きっと、大丈夫。大丈夫だ！」

教師「うるさい、そこ！ 何を喋っとるか！」

男「演劇です」

女「練習を 欠かさぬこそが 秘訣なり」

教師「うるさい、今は授業中だ！」

文化祭 台詞合わせに 必死です

いい加減 日常ネタも 苦しいか  
仕方がないし 季節変えるか……。

319 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 20:30:46.07 ID:6ViUxUBx0

オレのイメージでは女は背中にでっかい俳句を書く台紙みたいなのを斜めにしょってて  
さらに習字道具のはいってる鞆みたいのをもってる。

えっ? 聞いてない? すいませんでした。

321 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 20:41:10.61 ID:xvHV5yT70

女「やるならば とっととやろう セックス！」

男「そうあせるなよ、どうしたんだよ？」

女「やらないの どっちだ早くしろ 言えよコラ」

男「意味わかんね・・・んじゃ、シャワーあびてくる」

女「遅すぎる～ こんなんじゃ私 幸せになれない 字たらず～」

男「・・・もうダメかもわからんね」

323 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 21:22:15.49 ID:CDWEfsw00

女「ありがとう いつも一緒に いてくれて」

こんな一文しか思い浮かばなかった

324 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 21:40:05.23 ID:YHhQX/MX0

次のスレ 建てて欲しいと 思えども そう言い出すは 少し恥ずかし

325 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 21:53:54.76 ID:IBZx5X750

落ちるのが やたら速いな この時間

326 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 21:57:51.54 ID:mY4ZahsP0

落ちたかと思っていたら まだ生きて  
これほどのスレ 消したくはない

327 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 22:04:10.24 ID:xvHV5yT70

ほしゅほし ほしゅほしゅほ ほしゅほし

329 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 22:16:54.86 ID:YHhQX/MX0

家庭科調理実習中

男「なあ、卵割っといってくれ」

女「殻を割り 中を覗き見 して見れど わが心には 白身はあらし」

男「？」

330 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 22:20:55.56 ID:MJiz+IiR0

女「やれるなら いますぐしよう 性行為」

男「ホカソ」

女「やりますか やりませんかと きいている」

男「・・・」

女「遅すぎる これだと私 不幸せ」

>>321をインスパイアw

331 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 22:42:46.67 ID:YHhQX/MX0

保守という

言葉をいくら

集めても

作品一つに

勝てもせず

332 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 22:43:41.76 ID:MXA7dIb70

さすらひて

歌に狂うが

かの女子

一目見初めて

我はもえ立ち  
今書くと  
決意込めたる  
保守カキコ  
ただ戯れに  
お待ち下され

334 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 23:15:10.34 ID:MXA7d1b70  
卒業を 前に控えて 立ち止まり 共に回顧す 一筋の道

女「思うほど 時の流れは 遅くなく」  
男「回顧するのは 少しセンチだ」  
女「.....しかれども 巡る思いは 止め処なし」  
男「何を思うか 聞かせてくれよ」  
女「三年の 過ぎし月日が この胸に」  
男「.....その胸中に オレは何割？」  
女「決まってる 全ての絵には 君の影」  
男「ならば言おうか それは俺もだ」  
女「本当に？ 嘘はいらぬと 君に求むる」  
男「瞳逸らさん 俺を信じろ」  
女「知っている 君の思いは 私の思い」  
男「ならば言葉は 既に意味なし」  
女「ただ想う そのぬくもりを 今ここで」  
男「.....口付けならば やりましょう」  
女「足りませぬ キスと抱擁 求めます」  
男「それはわがまま 恥を覚える」  
女「良いでしょう？ 二人の時は 邪魔もなし」  
男「.....ああ仕方ない 我が恋人は」

抱き合いて 口付け交わす 影二つ 今より先も 永久に伸び往く

女「これからも 添いて進もう いつまでも」  
男「言われなくとも 離す気はない」

335 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 23:16:28.11 ID:/x0CaEAVO  
端女が 歌に狂いて風遊ぶ

337 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 23:40:32.13 ID:MXA7d1b70  
メールなら 遊べるはずだと 我思い 連ねし言葉 送る風景

男「この間やっと女が携帯を買ったんだ」  
友「え、マジで？ 女って携帯持ってなかったの？」  
男「うん。まあ、見た感じからして女って機械音痴っぽいじゃん？」  
友「あー、それはそうだな。なんたって常にリズムは五・七・五の人だし」  
着信を 知らせる音色 鳴りまして 気付きますれば 手に取りませう  
男「あ、メールだ」  
友「さっそく女さんからじゃね？w」  
男「噂をすればって？ ねーよw」  
女「帰り道 共に参ろう お茶屋さん ついに見つけた 理想の団子」  
男「うわ、ホントに女だったw」  
友「マジかw何だってw」  
男「何か帰りにお茶しましょだって」  
友「けっ！ 放課後デートの約束かよ。いいなあ。オレと代われw」  
男「だが断るw」

男（『いいよ。じゃあ、一緒に食べに行こう。それにしても女って和菓子好きだよな』つと、返信はこんなもんかな。）  
数分の後に響くは先程と同じメロディー 女から  
友「また女さんからだなw ラブラブじゃねーかw」  
男「うっせw」  
女『返信は和歌のリズムで 願います でなくばもはや 心消え行き』  
男「ちょwマジかw」  
友「？」

338 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 23:43:06.17 ID:gjkTBDYLO  
女「おお男!!! すきじゃあー!!! すきじゃあー!!! すきな  
じゃ-----!!!!!!

339 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 23:51:41.02 ID:MXA7d1b70  
あと一作  
書いたら今日は  
落ちます  
テスト期間に  
オレは馬鹿です

340 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 00:06:25.95 ID:TFUvdpU40

男「お、女! その五七五のリズムで俺をなじってくれ!」  
女「馬鹿男 なんて下賤な 輩なの」  
男「うっっ! すごくいい! 次は五七五七七ので頼む!!」  
女「頼むなら もっと言葉を 選ぶのね 馬鹿な君には 難題かしら」  
男「た、たまらんっ!!」

女「昨の晩 こんな卑猥な 夢をみた」  
男「変な報告すんな それにしてもこの女ノリノリである」

341 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 00:06:53.04 ID:Sr5MZr9s0  
携帯で  
見るは今宵も  
五七五の  
口調で話す  
女の話

保守

342 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 00:18:20.01 ID:qdc0vb3E0  
このスレに 二作書いて 思いついてし 国語楽しき これ最後。

掛詞 意図を悟れぬ 語彙力は 恋(故意)の難点 男ツンデレ?

女「男くん ちょいと質問 良いですか?」  
男「何?」  
女「先程の 古典の時間 関連で」

男「……いいよ。でも女は国語得意だろ？ わかんない所なんかあったか？」  
女「君ほどの力は無いよ 私には」  
男「過剰な持ち上げは嫌味だ。それぐらいわかるだろ、馬鹿じゃないんだから」  
女「……そのような意図はなかったけどゴメン」  
男「で？ 質問は何？」  
女「『君がため 惜しからざりし 命さへ 長くもがなと 思ひけるかな』」  
男「……ああ、義孝？ 後拾遺集の歌だろ？ それが何？」  
女「この歌を 上手く訳せず 四苦八苦」  
男「別にやる必要ないじゃん。どうせ次の時間に先生が解説してくれるだろ」  
女「けれどでも 予習しとけば よりわかる」  
男「……『「あなたの為なら死んでもいい」そんな言葉が嘘になる。  
かわした心は変わらないけど、死んでしまったらもう逢えない。  
少しも命惜しくないと思ったけれど、このまま君を見ていたい。  
生き長らえて、いつまでも君とずっと逢い続けたい。』」（再生音量極小）」  
女「え、あ、待って！ それじゃ聞こえぬ 声張って！」  
男「……やだ」  
女「……故意（恋）を知り 君に求めるその糸（意図）を 察し手繰りて 我を苛める」  
（再生音こちらも極小）」  
男「……もういいだろ、めんどくさいからあとは自分でやれ」

男立ち 離れる背中 眺めつつ 今の心境 書いて泣き濡れ

女「君が隙（好き） 見えぬ心は 不透明 今日も今日とて（凶も凶とて） 報われぬ 日々」

343 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 00:25:43.76 ID:Sr5MZr9s0

>342

五七五の  
奥の深さを  
実感す

345 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 00:58:49.91 ID:C8Yq06Gu0

絵を書くが  
人間書けずに  
四苦八苦  
さらにまだまだ  
見(魅)せられぬもの

(´・`・`)

346 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 01:08:00.19 ID:iyDPg5G10

暖かな春の日

ほとばしる汗

輝く笑顔

沢山の殿方の中でも

例え遠くても

貴方だけは一目で分かる

鞠を追い駆けるその姿に

私の胸はもう...

女『降り積もる この想いこそ 桜雪...』

...嗚呼、貴方を見ていると私h

<ゴスっ！>

女性徒『せっ、せんせ～！女ちゃんがバスケットボールを顔面ブロックして立ったまま白  
目向いてます！』

教師『またなの...？もういいから放っておきましょう...』

女性徒『は、はい...』

347 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 01:09:51.09 ID:iyDPg5G10

ごめん

眠すぎてこんなのしか書けなかった...

348 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 01:12:11.09 ID:C8Yq06Gu0

>>347

気にするな

眠くてそれなら

とてもいい

俺は駄目だな

人生＼(^o^)/ 杓ヲ

349 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 01:30:55.06 ID:S7adKGb+0

男「しまったな 弁当持つの 忘れてた」

女「仕方ない 弁当やるよ 男君」

男「おおマジか マジでサンキュー 女さん」

渡辺「おかしいな 私の弁当 どこだっけ～？(字余り)」

保守

351 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 02:16:12.73 ID:z9GKdJRM0

この思い

貴方へ届け

今すぐに

355 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 02:32:23.33 ID:gdJ31Yqy0

保守するが 何やら眠く なってきた 誰か代わりに 保守はできるか

356 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 02:38:46.49 ID:882FgnSN0

残念だ 俺も眠たく なってきた 俺の死体を 踏み越えてゆけ

358 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 02:55:15.53 ID:gdJ31Yqy0

とりあえず ラスト保守だ この野郎 明日の朝まで 残りますよう

359 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 03:09:03.20 ID:u986c+kA0  
疲れ

女「年かしたら 最近無理が きかなくて」  
男「そういうことは40になってから言おうな。個人差はあると思うけど」  
女「眠い目を 擦りながらも 徹夜する」  
男「無理して起きてる必要はないぞ？」  
女「眠ったら 私にかわり 保守してね ここがなければ 行くスレないの」  
男「あー、保証はできないけどな。なるべくやってみよう」

星空

女「自慢した 娘を危機に 陥れ 椅子に座りし 母カシオペア」  
男「エチオピアの女王だっけか。娘アンドロメダを自慢してポセイドンの怒りをかう」  
女「蠍とは 相性悪い オリオン座」  
男「蠍に刺されて殺されかけるんだ」  
女「銀の矢で 愛しい人を 射ち殺し 涙に暮れる 処女アルテミス」  
男「兄のアポロンに騙されたんだっか」  
女「人間の 愛憎劇を 空高く 星々に投げ 星座を作る」

寒さ

女「白い息 昇って消える その先を 見つめる二人 小さな二人」  
男「雪.....降ってきたな」  
女「その形 一つと同じ もののない 結晶が降る 静かに積る」  
男「さっきレーダー画像を見たけど結構降りそうだな、部屋に戻ろう」  
女「もう少し 冷たい空を 見ていたい あなたと共に 雪の降る中」  
男「.....もう少しだけな」

360 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 03:14:22.93 ID:v2QyDtjm0  
ここ見てて思いついたけど  
次のジャンルは「韻」だな、俺は立てられなかった

363 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 04:08:31.62 ID:u986c+kA0  
宇宙

男「中国が人工衛星ぶっこわしたよね」  
女「宇宙にも ゴミ撒き散らす 愚かさよ」

男「星の光って、ずっと昔の光が今になって届いたんだよな」  
女「故郷より 遥か彼方の 地球まで 達した光 確かな証拠」  
男「あまりに遠い星だと、実はもう存在していないかもしれない」  
女「死にむかい 輝き続け 滅びゆく あまたの光 しかと目に見ゆ」

男「安いから ちょっと欲しいな 月の土地 別に何にも 使わないけど」  
女「.....何にでも 値段をつけて 計り売り 人のものなど この世にはなし」  
男「ちょっと待て、軽い冗談だろ、そこまで怒らなくても」  
女「高すぎる 通行料が 払えない 月の兎が 悲鳴を上げる」  
男「.....ごめん」

女「格下げで 冥府の王と さようなら」  
男「あれって結局どうなったんだろうな」  
女「活火山 噴煙上げて 怒るイオ」  
男「木星の潮汐力が原因だそうだ」  
女「見てみたい 土星が水に 浮かぶところ」  
男「土星を浮かばせるのにどれだけの水が必要なことか……」  
女「硫酸の 雨は地表に 届かない」  
男「金星のことかー！」  
女「不思議だな ソーラーパネル 埃取り いったい誰が してくれてるの？」  
男「H.G. ウェルズの宇宙戦争みたいなタコ型宇宙人がボランティアで」

369 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/27(土) 07:33:11.17 ID:nn075WmS0  
>>363

( ^ ^ ^ )  
 1 1  
フジ サ-ソ/^o^ \ 才

こんなかんじか

364 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/27(土) 04:52:53.14 ID:u986c+kA0  
人の居ぬ 過疎の時間にただ一人 ひっそりと夜の 明けるのを待つ

365 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/27(土) 05:45:01.78 ID:u986c+kA0  
夜明け前 静かな道の真ん中で 仰いだ空は 雲に覆われ

367 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/27(土) 05:56:44.11 ID:70661i040  
長き闇 今宵も月は 顔隠し 夜明けを待たず 鳥が鳴きける

371 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/27(土) 09:20:02.51 ID:u986c+kA0  
>>369  
随分といい顔したイオだなw w w

あなたは私にとって……

女「休日に 一人で食うは カップ麺 侘しいけれど ありがたいもの」  
男「女ー、いるかー？」  
女「二人だと そこそこうまい カップ麺」  
男「お前またインスタントラーメンか、少しは作れよ」  
女「専属の 料理人いま 参上し その両手には 材料を持ち」  
男「ほらほら、お前も立って、俺の後ろで作り方見て覚えなさい」  
女「……朝食を 二人並んで 用意する」  
男「まあたまにはさ 悪くないだろ？」

まったり

男「そうだ、リンゴももらったんだよ、食べる？」  
女「温かな こたつに入り りんご食み 隣にあなた 言うこともなし」  
男「……耳澄ませ 聞いてみようか 雪の音」  
女「いつまでも 続くといいね この時が」

376 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/27(土) 12:02:39.57 ID:rOMhJ+3f0

女「・・・・・・・・・・(読書中)」  
男「女ー、また読書か？」  
女「本を読む それはいけない ことかしら？」  
男「いや、悪くはないけどさ・・・」  
女「・・・はっきりと しない男は 嫌なのよ」  
男「あー俺も構って欲しいなーなんて、アハ」  
女「恥ずかしい 言われる身にも なってよね・・・///」

んあー、こんなん駄目だろなー

377 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/27(土) 12:26:38.41 ID:TFUvdpU40

『女、転倒』  
女「！！」  
男「おいっ 大丈夫か？」  
女「・・・・・・・・」  
男「痛かったのか？ 涙出てるぞ」  
女「なっ 泣いてない！ 別に痛くも 無いからな」  
男「あーヒザすりむいてるな 血が出てる どれ、おぶってやるよ よいっしょっと」  
女「やめなさい！ 人が見ている 恥ずかしい・・・」  
男「怪我人は静かにしてろって」  
女「・・・・・・・・」

君の背と 心に感ず 温かさ

378 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/27(土) 12:37:59.34 ID:HbbOuAda0

今年初めて雪が積もった日の朝、いつものように遅刻気味の僕、  
君を待たせる並木道、走っていくと風が冷たく体温を奪われる。  
いつもの場所にいくとしゃがんで何かをしていた君、  
おはようと挨拶すると突然笑いだし、理由を聞くとこう言った。  
「赤鼻の トナカイさんは 来たけれど 置いてけぼりの サンタクロース」  
「そんなに真っ赤になってるか」  
慌てて隠してみるも、しばらく君は笑ったままで。

「ところでしゃがんで何してたの？」  
「男がね かなり待たせる ものだから ここで生まれた 兎が三匹」  
「ありゃ、それはごめんな それにしてもかわいいな」  
そうでしょ？というばかりの笑顔の返答。兎の鼻もちゃんと赤かった。

そろそろ行こうかと改めて学校への道を急ぐ。  
それでも僕らはゆっくりで、君は空を見上げながら歩いている。  
「白い息 どんどん空に 上ってく 雲の子供になるんだらうね」  
「そしてまた 僕らの元に 降りてくる 今度は冬の 申し子として」  
「そうしたら 今度は作ろう 雪だるま 二人で作れば きっと楽しい」  
そうだね、そうしよう。僕ら繋いだ手を振りながら寒さに負けじと歩いてく。

感じてる 手袋越しの 体温を

保守投下！

- 379 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 12:47:08.61 ID:gdJ31Yqy0  
>>378  
>>288の人かしら？
- 380 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 13:08:09.27 ID:HbbOuAda0  
>>379  
その通り 単発ネタを 書いてみた  
ついでに保守！
- 381 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 13:22:22.59 ID:Sr5MZr9s0  
雪積もり 思いが募るこの季節 あなたの隣で 溶けてゆきたい  
  
携帯で 刻むは易い 五七五 こんな俺でも 保守ならできる
- 382 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 13:24:16.98 ID:TFUvdpU40  
数時間 経ればこのスレ dat落ちか
- 385 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 14:40:17.17 ID:iB7HTF6s0  
保守すれど dat落ちかな 口惜しや
- 386 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 15:23:24.19 ID:r0MhJ+3f0  
落ちるのに 何も出来ない 悔しさか
- 389 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 15:37:40.08 ID:C8Yq06Gu0  
とりあえず  
バイトに行くし  
もう見れぬ  
まとめの方よ  
頼みましたぞ
- 390 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 15:45:35.53 ID:H3SCZL8n0  
安価無用  
保守で落とした  
五・七・五  
VIPで後日  
新ジャンルとな
- 398 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 17:00:34.79 ID:v2QyDtjm0  
FF8の風神みたく急に普通の喋りになったらかわいくね？  
俺FF8嫌いだけどあれはかわいいと枉々
- 399 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/27(土) 17:02:39.70 ID:u986c+kA0  
休日の昼下り

女「隣合い ただダラダラと 過ごす時 あと少しだけ 伸びてくれたら」

男「Zzz」

女「一日が 終わりゆくこの 寂しさよ 無邪気な寝顔 ただ哀しくて」

夕食

男「夕飯できたぞー」

女「面倒だ ここで一緒に 住まないか？」

男「.....まさかお前に先を越されるとは思わなかった」

女「言う時は はっきり話す これ大事」

男「んじゃ1ヶ月後にな、とりあえず食おう」

女「今日もまた 星空見たい 二人きり」

男「ん？いいけど.....」

終わりに、星空の元で

女「始まりと 終わりは常に 対を為す 再びいつか 出会えることを」

男「一日の終わりを詠むにしちゃ、ちょっと大袈裟だな」

女「温かな 君の隣は 私だけ」

男「.....んじゃ、もうちょっとしたら部屋に戻るぞ」

今日もまた何一つ変わらない一日の終わり。

## [全部](#)

### 新ジャンル「五、七、五」

- 1 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 20:37:44.94 ID:Y6BRvxQR0  
たてた
- 2 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 20:38:33.47 ID:xcNyjP8B0  
このジャンル1回でたよね？
- 3 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 20:39:00.15 ID:Z3Ceirxk0  
じゃあ旧ジャンルだな
- 4 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 20:39:23.58 ID:Y6BRvxQR0  
ごめんなさいほんとに立つとは かんがえず
- 5 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 20:39:31.11 ID:xcNyjP8B0  
すげえ書くの難しかったよな？

6 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 20:50:55.77 ID:Y6BRvxQR0  
責任もって下手だが投下する

女「男君 ちょこっとチョコをつくったの もしよかったら 食べて頂戴」

男「その洒落は 冬にはちょこっと 寒すぎる」

女「恥ずかしい 私の熱で とけそうだ」

男「真っ赤になるなら 言わなきゃいいのに」

7 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 21:09:15.63 ID:sEDo5Vr60  
2スレ目か ぶっちゃけ俺は ネタ切れだw

8 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 21:10:07.99 ID:Y6BRvxQR0  
男「なあ、今日寒くないか？」

女「いつもより 確かに気温は 低い様」

男「でも、おまえ寒そうじゃないな？」

女「寒ければ 私のぬくもり 君の手に」

男「そういうのは男が言うものじゃないか？」

女「その言葉 男女差別と 人が言う」

男「すいません はい、すいません すいません」

女「そんなにも あやまらなくても 気にしない」

男「じゃあ お言葉に甘えて」

女「ぬくもりが つないだ手から 染み渡る」

男「ほんとはぎゅっと 抱きしめたい あ、字足らずか」

9 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 21:11:28.95 ID:TOW+Wu750  
目覚め

女「.....」

男「女、どうした？まだ寝惚けてるのか？」

女「スレが立ち 深く沈んだ 海の底 また浮上する あなたに会いに」

男「昨日の夜も様子が変わったしな.....とりあえず、俺は朝の用意してくる」

女「.....長ければ あと三日間 一緒だね」

10 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 21:14:24.99 ID:411NY+P40  
ほんとヤバイ  
裁判敗けたら  
どうしよう...

12 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 21:30:32.00 ID:Y6BRvxQR0  
グゥ~

男「今の音はお腹の音ですか」

女「腹の虫 はや12時を 告げている」

男「いやまだ1限終わったところです。っていうか朝飯食ってないのか」

女「失礼な きちんと朝も 食べている」

男「そうですか」

女「仕方ない 少し早いが お弁当」

男「昼飯はどうするんだ？」

女「昼食は 君のご飯を 頂きます」

男「それは勘弁 して下さい」

13 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 21:47:45.94 ID:Y6BRvxQR0

このスレは  
やはり俺しか  
いないのか

14 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 21:50:18.99 ID:CpQP4aPb0

そんなとき。  
まとめがあったら  
ちょっといいかも

まとめ

<http://www25.atwiki.jp/five-seven-five/>

16 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 22:11:20.92 ID:Y6BRvxQR0

>>14

ありがとう それをはるのを 忘れてた

17 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/28(日) 22:25:02.27 ID:I7ZChSP10

~学校~

女「……」

男「……………」

女「……………」

男「……いや、喋れよ？」

女「今この場 この状況では 意味はなし」

男「いや、だってなあ……」

熱心に 女が読むは 古典作。

女「ちなみにな？ 古い本とは エロいんだ」

男「知るかボケ！」

18 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 22:31:39.50 ID:TOW+Wu750

昔話

女「つまらない 昔話で いいのなら これから何か お話しします」

女「その昔 村にて暮らす カップルが つまらぬことで 喧嘩をしたの」

女「ぷりぷりと 怒りを顔に 出しながら 家を出ていく 男と女」

女「川に行く 男の背中 一睨み 悪口を言い 涙を流し」

女「山に来た 女はなぜか 寂しくて 何度も家を 振りかえります」

女「出迎えは 一枚の紙 置き手紙 『頭を冷やす 明日には戻る』」

女「寒い夜 一人で過ごす さみしさよ なぜ喧嘩など してしまったの？」

女「夜が明けて 騒がしい朝 川の方 死人が出たと 噂が流れ」

女「飛び起きた 女が川で 見たものは 冷たくなった 男の体」

女「膝をつき 崩れ落ちゆく 蒼白の 華奢な体を 地に投げ出して」

女「どれだけの 昼夜を一人 過ごしたら あなたのもとへ 行けるのでしょうか？」

女「涙尽き もう泣けないと 言ってから またさめざめと 泣き続く日々」

女「生きる意思 意味などすべて 見失い 女に見えた 最後の光」

女「目覚めたら 天国という 場所に居て 男は知った 死んだらしいと」

女「隣人は 気楽に笑う そのうちに 女もここへ 来るはずだから」

女「『ふざけるな！』 納得できぬ そんなこと 男は急ぎ ただ走り出す」

女「神が言う もう戻れぬぞ 諦めよ そなたはすでに 死んだのだから」

女「『俺はまだ 言わねばならぬ ことがある』 必死になって 逃げ行く男」

女「熱意から 神様もつい ほだされて 『それなら一つ 条件がある』」

女「熱病で 消えゆく命 白い肌 見まもる者は どこにもいない」

女「『ごめんねの その一言が 言えなくて』 男の声が 微かに響く」

女「『私こそ 素直になれる 今ならば』 命の鼓動 空へと消えて」

女「.....わたくしの 作り話は ここまでで あとは聞き手の 想像のまま」

19 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 22:32:01.25 ID:Y6BRvxQR0

男「昨日休んだろ、ほら、ノート取っといたぞ。

女「あなたの字 立派といえぬ 外観が とかく中身も 美しくなし」

男「お礼はないのか、ひどい言い様だな」

女「先ほどの 歌の一文字目 よんでみて 直接言うは はずかしいから」

20 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 22:40:19.25 ID:sEDo5Vr60

人が増え 再び活気が このスレに

前もこんなん 書いた気がする

- 21 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 22:45:47.93 ID:Y6BRvxQR0  
このスレは 普通のレスを つけにくい 気にせずつけても よいと思うが
- 23 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/28(日) 23:26:59.92 ID:5mwHNpWU0  
いと愛し 鉄の塊隼の 駆け行く道は 神のみぞ知る
- 25 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/29(月) 00:38:53.41 ID:YHYVsWYD0  
新ジャンル「正月」もこんな感じだった
- 26 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/29(月) 01:23:58.30 ID:/dF/ZdIj0  
保守します 五、七、五スレが 落ちぬよう